

9 月度 例会 山行報告書		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢康裕 浩貴
個人		報告日	9/13		
山 域	中央アルプス	山行日	06 年 9 月 9 日(土)		
山 名	木曽駒ヶ岳				

山行目的	歩行技術の向上	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	---------	-------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 木曽駒ヶ岳

5:30 自宅発
7:15 菅の台 BC
8:10 千畳敷 16 (霧)
8:45 発
9:25 宝剣山荘 (霧)
9:35 発
10:20 木曽駒ヶ岳 (晴)
10:40 発
11:40 濃ヶ池分岐手前
11:50 発
12:15 遭難記念碑
12:15 発
13:00 濃ヶ池
13:10 発
14:05 宝剣山荘 (霧)
14:15 発
14:45 千畳敷
19:30 自宅着

山行報告 前回の富士山ご来光登山で息子に少し無理をさせてしまったので、今回は山歩きの楽しさを伝えたくて初心者向けのルートを選定した。千畳敷までは、駒ヶ岳ロープウェイで一気に標高 2611m まで高度を稼げるので、無雪期には多くの登山者がここから木曽駒ヶ岳、宝剣岳を目指して登る。5 時半に自宅を出発、自家用車を菅の台駐車場に置いて、バス・ロープウェイと乗り継いで、千畳敷へ。夏休みも過ぎたというのに、千畳敷カールは中高年の人たちが大賑わい。カールの中腹から上はガスで何も見えず、小雨が降っている。『まあ、こんな日もあるさ』と息子を慰めつつ、昨日の空手練習の筋肉痛が残る足で、ガスの中、稜線の乗越浄土を目指して登る。お花畑は、若干見頃には遅いが、白い霧の中、黄色のミヤマアキノキリンソウが映える。40 分で稜線にある宝剣山荘に着く。宝剣山荘では相変わらずガスがかかっていたが、中岳を越えて木曽駒ヶ岳に向くと次第に上空が明るくなってきて、ガスが晴れてきた。暫し虹が出たと思うと、ガスが切れて木曽駒頂上が姿を現した。人が結構多く、頂上までまばらな行列ができています。頂上は大繁盛で、ほとんどが中高年の人たちである。『ぐるっと回りたいが、どっちに行ったらいい』と、地図もなしに私に尋ねてきた単独行のオバサンには恐れ入った。懇切丁寧に、二万五千分の一の地図とコンパスを見せて、道標を指して方角を教えてあげたが、これが中高年登山者の実態と思うと、暗澹たる思いだ。ここから、『聖職の碑』の遭難記念碑と濃ヶ池をぐるっと巡る散策コースに行く。

こちらに向う人はほとんどおらず、静かな山歩きを楽しむ。日差しが強くなってきて、朝とは打って変わって暑い。宝剣山荘に戻る頃には、またガスの中になったが、満足感を抱いて下山。帰りは、『こまくさの湯』にて、山の汗を流す。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認 (リーダー)
大
06/09/10
矢
作成 (報告者)
大
06/09/10
矢

リーダー所見 コース自体は易しいといえども、ちょっとした岩場やハシゴなど、山を始めたばかりの初心者にとって良い歩行トレーニングになったと思われる。いつの日か、今回断念した宝剣岳に登れる日を楽しみにしたい。中高年の登山者については、せめて社内向けだけでも部として、何らかの啓発活動を検討すべきでは。(登山大会でアピールなど)